

報道関係者各位

令和6年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について

このことについて、下記のとおりアンケート調査の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 調査の目的

東日本大震災から13年が経過する中、避難生活の長期化に伴う課題や避難者のニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資するため、例年実施しており今回で14回目

2 調査対象世帯数等

対象世帯 377世帯
回答世帯 86世帯（回収率22.8%）

3 調査期間

令和6年6月中旬から7月下旬

4 調査結果のポイント

- (1) 山形での生活について、困っていること・不安なことは「生活資金(48.8%)」が最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康(46.5%)」、「自分や家族の心の健康(25.6%)」の順となっており、生活資金と身体の健康と回答した方の割合が依然として高い（複数回答）。
- (2) 今後の生活の予定については、「山形県に定住したい(34.9%)」と「もうしばらく山形県で生活したい(26.7%)」を合わせて、当面山形県に留まりたい意向の方が約6割と、昨年度(約7割)から減少した一方で、「今後どこで生活するか未定である(22.1%)」は増加傾向にある。
- (3) 心身の不調を訴える方は、調査を開始した平成23年度は8割程度であったが、今年度は約7割となった。

5 公表資料（別添のとおり）

- (1) 令和6年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について【概要】
- (2) 東日本大震災避難者アンケート調査集計結果

【問い合わせ先】防災くらし安心部防災危機管理課復興・避難者支援室
中川 電話 023-630-3164
【報道監】防災くらし安心部次長(兼)危機管理広報監 小泉